

1-5	<p style="text-align: center;">初対面によく聞く疑問詞疑問文のまとめ（何／どこ／誰）</p> <p style="text-align: center;">（名前、国籍、職業、会社、学校などを尋ねる）</p>
基本文型	<p>① Nは[疑問詞]ですか。</p> <p>② [疑問詞]のNですか。</p> <p>N = (お) 名前 / (お) 国 / (お) 仕事 / 会社 / 学校</p> <p>疑問詞 = 何 / 誰 / どなた / どこ / どちら</p>
ポイント	<p>【文型・文法のポイント】</p> <p>* 自己紹介によく使われる疑問詞のまとめ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 相手の名前を尋ねる … 「失礼ですが、お名前は（何ですか）」 2. 第三者の名前を尋ねる … 「あの方のお名前は（何ですか）」 「あの方はどなた（誰）ですか」 3. 国籍を尋ねる … 「お国はどちら（どこ）ですか」「どちらから（どこから）来ましたか」 4. 職業を尋ねる … 「お仕事は何ですか」「何をされていますか」 5. 会社／学校を尋ねる … 「会社（学校）はどちら（どこ）ですか」 「どちら（どこ）の会社（学校）ですか」 <p>【教えるときのポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自己紹介によく使われる疑問詞を、一度整理してあげると、その後の練習もスムーズに進むため、ここで疑問詞のまとめを入れてあげた方がよい。 ・ 「お国」の「お」は接頭辞。聞き手や第三者に関するものにつけ、聞き手への敬意を表す。尋ねる場合は「お」をつけなくても通常問題ない。（「国はどちらですか」でも失礼ではない） ・ 「お」は和語、「ご」は漢語につくことが多い。 （「お名前」「ご氏名」「お仕事」「ご職業」「お生まれ」「ご出身」） ただし、日常生活によく使う言葉は漢語でも「お」がつくことが多い。（お食事、お掃除、お料理など。） ・ 「金」「酒」などの言葉は「お金」「お酒」として教えた方がいい。（「お」をつけなければ失礼になる場面が多いので、常に付けるようにしたほうがよい。） ・ 「会社はどちらですか」の答えは、「はぁと international（社名）です」「天神（場所）です」2通りある。普通は、まず社名を聞いて、その後で場所を聞くことが多い。 「会社はどちらですか」 → 「はぁと international です」 → 「どちらにありますか」 → 「天神です」 ・ 「私のお国は～」と、自分のことにも「お」をつけてしまうことがある。反対に相手に質問するときに「国は何ですか」と質問してしまうことがある。 ・ 会社や学校を聞くときに、「会社は（学校）は何ですか」と言ってしまう間違いが多い。会社名や学校名を聞いているという意識からだと思うが、日本語では「どこ（どちら）」で聞くことを確認。
例文	<p><例文></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「失礼ですが、お名前は」「本田です」 2. 「あの方はどなたですか」「佐藤さんです」 3. 「お国はどちらですか」「ベトナムです」 4. 「お仕事は何ですか」「銀行員です」 5. 「会社はどちらですか」「はぁと international です」
場面	

